

ユニセフ・ネパール大地震 緊急募金のお願い

■宅配商品注文書4ケタ注文欄に、
下記のお申し込み番号と口数をご記入ください。
(eふれんず(WEB注文)でもお申込みいただけます)

宅配申し込み期間 5月25日～6月5日

1口 100円の申込番号… 2873 口数

1口 500円の申込番号… 2874 口数

1口 1,000円の申込番号… 2875 口数

■新栄店、大町・高砂店でも募金箱にて受付中です

◆問い合わせ コープさが生協総務部組織企画グループ
電話 0952-31-3977

 **コープさが 生活協同組合**

裏面もごらんください



©UNICEF/NYHQ2015-1015/Nybo

首都カトマンズのトリブバン大学教育病院で、怪我を負った少女と話すユニセフのスタッフ。

4月25日、ネパールで起きたマグニチュード7.9の地震とその後も続く余震は、5,000人以上の死者を出し、広範囲にわたる建物倒壊など、ネパールに多大な被害をもたらしています。

緊急に支援が必要な子どもは94万人

ユニセフ(国連児童基金)は、ネパールでの地震によって深刻な被害を受けた地域に暮らす94万人の子どもが、緊急の人道支援を必要としていると発表しました。

被災地域では、既に水や食糧の不足、停電、通信網の遮断などが起きています。何十万人もの人々が、余震を恐れ屋外で夜を明かしました。さらに状況を悪化させる激しい降雨も報告されています。こうした危機において、子どもたちは特に厳しい状況に置かれます。安全な水やトイレが使えないことで、汚水に起因する病気のリスクが高まり、また家族と離れ離れになった子どももいると考えられています。

ユニセフは、被災した子どもたちに緊急人道支援を行うための人員と物資をネパールに送り、特に水と衛生、栄養、教育、保護の分野で支援活動を開始しました。まずネパール国内に備蓄している物資を使い、仮設避難所に集まっている人々のための水と給水タンク、経口補水塩、亜鉛の錠剤、救護施設用のテントなどを提供しています。

また、医薬品や医療備品、テント、毛布など合計120トンのユニセフの救援物資をカトマンズへ空輸するため、2機の貨物輸送機が離陸の準備を進めています。

この状況を受けて、日本ユニセフ協会はネパールの子どものために、「ネパール大地震 緊急募金」の受付を2015年4月26日(日)から開始しました。

募金はコープさが生協を通して、日本ユニセフ協会へ送金します。
皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

ユニセフ・バヌアツ台風 緊急募金のお願い

裏面もごらんください

■宅配商品注文書4ケタ注文欄に、
下記のお申し込み番号と口数をご記入ください。
(eふれんず(WEB注文)でもお申込みいただけます)

宅配での申し込み期間 5月25日～6月5日

1口 100円の申込番号… 2876 口数

1口 500円の申込番号… 2877 口数

1口 1,000円の申込番号… 2878 口数

■新栄店、大町・高砂店でも募金箱にて受付中です

◆問い合わせ コープさが生協総務部組織企画グループ
電話 0952-31-3977



©UNICEF/UNI181131/Crumb

多くの子どもたちが自宅を失っており、食糧の
備蓄も底をつきつつある。

現在、サイクロン・パムの直撃を受けた太平洋諸島のバヌアツで、多くの子どもたちが緊急の支援を必要としています。勢力の強さが5段階で最大の「カテゴリー5」に発達したサイクロンは、3月13日(金)の夜から翌14日(土)の朝にかけてバヌアツで猛威を振るい、子どもたちは大きな危険に晒されました。バヌアツでは、およそ8万人の子どもたちが被災しています。

現地の状況

バヌアツのいたるところで、安全な飲み水やトイレなどが使えなくなっています。避難所となっている場所でも同様の状況であるため、汚れた水に起因する病気や、生き物が媒介する病気の発生リスクが非常に高くなっています。ユニセフは、パートナー団体と共にバヌアツ政府を支援し、水を運ぶ容器、浄水剤、石けん、仮設トイレなどの支援物資を提供しています。

ユニセフは、また、主要な社会サービスへの影響についても、調査を開始しました。幼稚園、小学校、中学校などの施設は、被害を受けているか避難所として使用されているため、少なくとも7万人の子どもたちが教育を受けられない事態に陥っています。

ユニセフは、子どもたちとその家族を支援するため、避難所で、子どもの保護、教育、保健サービスの支援活動を展開しています。

また、バヌアツは予防接種率*が低く、今月のはじめにははしかの流行が確認されていたため、ユニセフはWHO(世界保健機関)と共同で、はしか予防のための緊急対応を行っています。ユニセフのチームは、緊急用の備蓄燃料を使ってワクチンのための冷蔵倉庫を復旧し、子どもたちに命を守る予防接種を行う体制を整えています。*バヌアツのはしかの予防接種率はわずか52%(世界の平均は84%)

ユニセフはまた、同様にサイクロンの被害を受けているツバルやソロモン諸島での支援活動も進めています。

募金はコープさが生協を通して、日本ユニセフ協会へ送金します。
皆様のご協力をよろしくお願い致します。



コープ。さが 生活協同組合